

表示名	項目名	当院基準範囲 (又はカットオフ値)	単位	備考	解 説
生化学検査					
TP	総タンパク	6.6～8.1	g/dL	※	総タンパクは血液中のタンパク質の総量をあらわします。アルブミンは代表的なタンパク質の一つで、両者ともに栄養状態の指標になります。
Alb	アルブミン	4.1～5.1	g/dL	※	
UN	尿素窒素	8～20	mg/dL	※	腎臓の働きをみる検査です。腎臓から排泄される老廃物で、腎機能が悪くなると増加します。クレアチニン値を使用して、推算糸球体濾過量（eGFR）として評価する場合があります。これは老廃物を排泄する能力の指標になります。能力が低下すると、値が低下します
Cre	クレアチニン	男性：0.65～1.07 女性：0.46～0.79	mg/dL	※	
UA	尿酸	7.0	mg/dL以下	※	老廃物の一種で、高値になると痛風になる危険が増えます。
Na	ナトリウム	138～ 145	mmol/L	※	血液中の電解質の濃度です。腎臓の病気やホルモンの異常、脱水などで増加したり、減少したりします。
K	カリウム	3.6～ 4.8	mmol/L	※	
Cl	クロール	101～ 108	mmol/L	※	
Ca	カルシウム	8.8～10.1	mg/dL	※	
IP	無機リン	2.7～ 4.6	mg/dL	※	
Mg	マグネシウム	1.8～ 2.4	mg/dL		
Fe	血清鉄	40～188	μg/dL	※	鉄が低値を示す場合は鉄欠乏性貧血などが考えられます。鉄とUIBCの増減のパターンは、鉄欠乏性貧血の診断に役立ちます。
UIBC	不飽和鉄結合能	男性：170～250 女性：180～270	μg/dL		
フェリチン	フェリチン	男性：50.0～200.0 女性：12.0～ 60.0	ng/mL ng/mL		フェリチンは鉄と結合して体内に貯蔵するタンパク質で、鉄欠乏性貧血で低値となりますが、悪性腫瘍などで高値となることがあります。
中性脂肪	中性脂肪	35～149	mg/dL		総コレステロール、LDLコレステロール（悪玉コレステロール）、中性脂肪が増加した場合は脂質異常症といいます。HDLコレステロールは善玉コレステロールと呼ばれ、この値が低くなると動脈硬化の危険が大きくなります。
総コレステロール	総コレステロール	125～219	mg/dL		
HDL-C	HDLコレステロール	40	mg/dL以上		
LDL-C	LDLコレステロール	140	mg/dL未満		
Glu	血糖	73～109	mg/dL	※	血液中のぶどう糖（グルコース）濃度を示します。糖尿病で高値になります。
HbA1c	ヘモグロビンA1C	4.9～6.0	%（NGSP 値）	※	過去 1～2 ヶ月間の平均血糖値を反映しているので、糖尿病の患者さんの長期の血糖のコントロール状態がわかります。ある時点の血糖値が正常でもヘモグロビンA1Cの値が高いと、糖尿病が疑われます。
CRP	C反応性蛋白	0.00～0.14	mg/dL	※	感染症などで体内に炎症があると増加します。
血沈-30	赤血球沈降速度30分値	（設定なし）			血液中の赤血球が沈んでいく速さをみる検査で、感染症などの炎症性疾患、膠原病の一部、いくつかの疾患で増加します。
血沈-60	赤血球沈降速度60分値	男性：2～10 女性：3～15	mm mm		
T-Bil	総ビリルビン	0.4～1.5	mg/dL	※	黄疸の程度を示します。肝臓・胆道の病気、ある種の貧血などで増加します。抱合型ビリルビンは従来、直接ビリルビンと呼ばれていた項目に相当します。
C-Bil	抱合型ビリルビン	0.0～0.2	mg/dL		
NH3	アンモニア	12～66	μg/dL		肝臓の機能が著しく低下した場合や肝性脳症などで高値になります。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13～30	U/L	※	肝臓の細胞が壊れると増加するため、肝細胞の障害の程度を示します。肝臓以外の病気でも増えることがあります。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	男性：10～42 女性： 7～23	U/L U/L	※ ※	
LD	乳酸脱水素酵素	124～222	U/L	※	
ALP	アルカリホスファターゼ	38～113	U/L		肝臓・胆のう・膵臓などの病気で胆汁の流れが悪くなったとき増加します。ALPは骨の病気などでも増加することがあります。また、γ-GTは習慣飲酒などによっても増加します。
γ-GT	γ グルタミルトランスフェラーゼ	男性：13～64 女性： 9～32	U/L U/L	※ ※	
ChE	コリンエステラーゼ	男性：240～486 女性：201～421	U/L U/L	※ ※	肝臓のタンパク質をつくる働きの指標です。肝硬変では低下し、脂肪肝などでは増加します。
AMY	α アミラーゼ	44～132	U/L	※	膵液や唾液に含まれる酵素で、膵臓や唾液腺の病気で増加します。
CK	クレアチンキナーゼ	男性：59～248 女性：41～153	U/L U/L	※ ※	筋肉に含まれる酵素で、心筋梗塞や筋肉の病気で増加します。運動後や、筋肉注射を受けた後にも増加します。

※共用基準範囲：全国共通の基準範囲です。採用している施設であれば、どの医療機関で検査を受けても、同じ判断が可能となります。